

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	○災害対策では、避難訓練において消防局の立ち合いを依頼し、意見をもらうことができると良い。夜間想定訓練や、消火訓練も行うことができると良い。	・避難訓練の実施の際に、東海市の消防署の職員に立ち合いを依頼し、振り返りの中で改善点をあげてもらい今後活かす。 ・また2回の避難訓練のうち1回は、夜間想定訓練を行う。	・避難訓練を計画し、書類を提出する際に東海市の消防署に立ち合いを依頼していく。 ・夜間を想定した避難訓練の場合、同一敷地内の小規模多機能ホームおさぼりの職員と連携して行う必要がある。当日の動きなどを想定して基本的に職員2名で何ができるのかを考えて行う。	6ヶ月
2	49	○日常的な外出支援においては、新型コロナウイルス感染の影響で、利用者様が外に出る機会が減っている。それによって心身の機能が低下していくことが懸念されるので、いかに状態を維持できるかが課題となる。	・生協のんびり村の敷地内でのレクリエーション、目の前の公園への散歩、買い物などに利用者様と職員と一緒に出かけることで心身の機能の維持を図る。	・新型コロナのワクチン接種も進んでいくので、職員体制の良い日は、散歩、買い物に利用者様を誘って、一緒に行く。 ・月に1回程度、敷地の中庭や、地域交流館でのカラオケなどのレクリエーションを行う。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。